

千葉大学教育実践研究

第 27 号

令和 6 年 3 月

< 論考 >

- 磯邊 聡…………… 1
学校教育相談のあり方とこれから
—教育臨床の立場からの私論—
- 伊藤裕志・森 美香・大野英彦・松井 聡・土屋明子・國吉浩二…………… 13
教員免許更新制の発展的解消に伴う取組
—千葉大学教職大学院・公開講座を通して—
- 國吉 浩二…………… 21
学生の教職への意欲向上に向けた取組
—現職教員とのグループワークをとおして—
- 齋藤 美枝・笠井 孝久…………… 29
学校現場における教育相談の実際 第 2 報
—中学校教員の現状と課題—
- 重 歩美…………… 35
教職課程を履修している学生の特別な支援を要する生徒への支援についての意識の現状
—中学校・高等学校における合理的配慮の在り方に焦点を当てて—
- 松井 聡・土屋 明子…………… 43
「一人から始まる 4 人組の活動」の有効性
—主体的な学びの姿に関する一考察—
- 八木澤 史子・安里 基子・堀田 龍也…………… 53
個別最適な学びと協働的な学びの充実を図る授業における学習指導案の項目の検討
—都道府県等の教育センターが公開している学習指導案の項目に関する調査を通して—

< 広報 >

「千葉大学教育実践研究」編集・発行要領

(平成30年 4月7日 教員養成開発センター編集委員会承認)

- 第1 千葉大学教育学部附属教員養成開発センター（以下『センター』という。）は、教育実践に関する研究促進のため、「千葉大学教育実践研究」（以下『実践研究』という。）を編集・発行するものとする。
- 第2 「実践研究」は、原則として毎年度1回発行し、教育実践に関連する内容の研究論文、その他の記事を掲載する。
- 第3 論文は投稿によるものとし、その他の記事は編集委員会の企画によるものとする。
- 第4 投稿論文の採否、掲載順序、体裁、費用の負担区分の決定、その他の編集業務は、センター内に設置される「実践研究」編集委員会がこれを行う。
- 第5 「実践研究」に論文を投稿できるのは、次の各号に該当する者である。ただし、共著者となるものについてはこの限りではない。
- 一 センター長及び副センター長、センター専任教員、高度教職実践専攻専任教員
 - 二 特任教員及び特別研究員
 - 三 高度教職実践専攻修了生
 - 四 編集委員会が認めた者
- 第6 投稿できる論文の数は、1回の発行につき、原則として1人1編とする。ただし、編集委員会がその掲載の必要性を特に認めた場合は、この限りではない。
- 第7 掲載する論文は、原則として次の各号に従って作成・投稿されたものに限る。
- 一 原稿は横書き（ワードプロセッサで印字されていることが望ましい。）とする。
 - 二 原稿には、本文の他に、題名・著者名（和文及び欧文）、300字程度の要約（和文又は欧文）、1～5個のキーワード（和文及び欧文）を記載する。
 - 三 原稿の長さは、題名・著者名、要約・キーワード、図・表・写真、注釈、参考文献リスト等をすべて含め、刷り上がり頁数で10枚（ワードプロセッサにより40字29行で印字した場合、約14枚に相当）程度とし、最大でも12枚以内にとどめる。
 - 四 図・表・写真（白黒に限る。）は、必要最小限の枚数にとどめ、刷り上がりサイズができるだけ小さくなるように工夫したうえで、1枚ごとに別の用紙に作成し、縮尺率と本文中の挿入位置を明記して、本文原稿とは別に閉じて提出する。
 - 五 参考文献、注釈の記載形式は、著者の所属する学会等での慣例にしたがう。
 - 六 投稿締切は、毎年度1月末とし、具体的日時は年度ごとに「実践研究」編集委員会が決定する。
- 第8 論文掲載負担金については次の各号の通りとし、投稿者に配当された校費等をもってあてる。
- 一 1論文につき1万円を投稿者が負担する（別刷30部の印刷代を含む。）ただし附属学校（園）の研究協力者による単独投稿の場合は、この限りではない。
 - 二 この要領が定める論文編数、頁数、別刷部数の制限を超える論文については、前号に加えて、投稿者がさらに費用を負担するものとする。
- 第9 この要領に定めない事項については、編集委員会の決定するところによる。
- 第10 発行に関する庶務は、センター事務室が担当する。
- 第11 この要領は、センター編集の議を経て改正又は廃止する。

附 則

1. この要領は平成5年7月1日より発行する。
2. 千葉大学教育学部附属教育工学センター紀要投稿規定は廃止する。

附 則

- この要領は、平成8年10月から実施する。
- この要領は、平成11年10月1日から実施する。
- この要領は、平成14年4月1日から実施する。
- この要領は、平成26年4月1日から実施する。
- この要領は、平成30年4月7日から実施する。

編集委員(五十音順)

磯邊 聡 伊藤 裕志 大野 英彦
笠井 孝久 國吉 浩二 土屋 明子
松井 聰 森 美香

千葉大学教育実践研究 第27号

令和6年3月31日印刷・発行

発行者 千葉大学教育学部

附属教員養成開発センター

〒263-8522

千葉市稲毛区弥生町1番33号

電話・FAX 043 (290) 2696

印刷所 三陽メディア株式会社

Research in Teaching Strategies and Learning Activities:

A Bulletin of the Center for Research and Development
In Teacher Education Faculty of Education, Chiba University

No.27 March 2024

Original article

The Nature and Future of School Educational Counseling

-Some Personal Considerations from the Clinical Perspective-

..... ISOBE Satoshi 1

Efforts for the Developmental Dissolution of the Teachers' License Renewal System

-Through public lectures at Chiba University's Graduate School of Teaching-

..... ITOH Hiroshi, MORI Mika, OHNO Hidehiko, MATSUI Satoshi,
TSUCHIYA Akiko, KUNIYOSHI Koji 13

Initiatives to motivate students to become teachers

: Through group work with in-service teachers.

..... KUNIYOSHI Koji 21

Practice of educational consultation in school field

..... SAITO Mie, KASAI Takahisa 29

Current Status of Awareness Regarding Support for Students with Special Needs Among Teacher Training Students.

-Focus on the way of Reasonable Accommodation at Junior High School and High School-

..... SHIGE Ayumi 35

Effectiveness of "Four person activities starting with one person"

:A Reflection on the Shape of Learning Independently

..... MATSUI Satoshi, TSUCHIYA Akiko 43

A Study on Items in the Lesson Plans to Enhance Individualized and Collaborative Learning

- Through a Survey on the Items in the Lesson Plans Published by the Education Centers from each Prefecture-

..... YAGISAWA Fumiko, ASATO Motoko, HORITA Tatsuya 53

Information

Published by
the Center for Research and Development
In Teacher Education Faculty of Education, Chiba University
1-33 Yayoi-cho, Inage-ku, Chiba
263-8522 Japan